

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	CONTRAIL		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 15日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の特性、性格を十分に理解し、個々に合わせた声掛け等の支援が徹底していること。	細かいアセスメントで児童の環境、背景を十分に理解し、日々2回のミーティングの義務化で全指導員に児童の日々の様子、支援内容を周知共有を実施していること。その内容をモニタリング、個別支援計画書に反映できていること。	学校施設、保護者、事業所の3者でより密に情報を共有すること。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当事業所の知名度。	開所してから2年超程度と事業所として経験が浅いため、地域の流れが把握できていない部分がある。	今後、事業所内で合同説明会や体験会などを実施していきたい。
2			
3			